

いきちかクラブの2大活動



1. 公園花壇での実践提供

- みんなで花を育てよう♪
- 花壇をきっかけにゆるくつながろう



2. 家庭でのコンポストの実践提供

- 簡単で楽しい「キエーロ式プランターコンポスト」

3

土の再生と春のたねまき

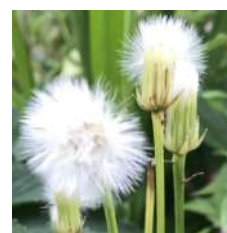
土

- 土は、地球の大事な一部
- 買う、もらう、育てる



たね

- たねは、植物の次の命。
- 買う、もらう、植物からとる、



4

春のたねまき


- 春は成長の季節！ぐんぐん育つ！
- 夏用の暑さに強い植物を育てる
- 植物ごとの「発芽適温」を確認
- 春は虫の季節！
- 春のたねまきは「虫」と「気温の急激な変化」「水切れ」が注意点
 - 5月に殺虫剤の話をしませ
 - 近年は春でも暑く、一昔前のノウハウが通じなくなってきました

春まきのたねの例

- マリーゴールド、ペチュニア、アサガオ、ヒマワリ、ジニア（百日草）、センニチコウ、コリウス・・・
- トマト、キュウリ、ナス、ゴーヤなどの夏野菜

5

たねまきのコツ

- パッケージの説明をよく読む
- たねを深く入れない。たねの上に2～3ミリの土をかぶせる程度
- たね（の周りの土）を乾かさな
-  発芽するまでと発芽後で水やりの考えが変わります
- 発芽直後の日光、かなり大事！

▼くわしくはブログで

ジフィーセブンで種から育てるコツ～初めての種まきで発芽率を上げて徒長を防げ～



6

たねまき用の土を使う？

使う=安全

- たねまき用土は**粒が小さく**、たねが土に密着できる
- 菌の少ない**清潔な土**で、弱い赤ちゃん新芽を守る

使わない

- たねまき用土として再生しづらいので、毎回買うのはコストがかかる
(一度使ったたねまき用土は、再利用もたねまきではない用途が安全)

たねまき用土：

清潔，粒が小さい，肥料分はなくてOK

つぶつぶのもの（赤玉・鹿沼）や，ふわふわキラキラなもの（バーミキュライト系）がある

7

たねまき用の小さな容器を使う？

使う=植え替えを味わう

- 小さなスペースから始められる
- 植物の大きさに合った容器の方が育ちやすい
- 植え替え時に根をチェックしたり，土をブレンドし直したりできる（手間暇愛情♪）

使わない

- 「直根性」の植物は植え替えが難しいから，最初から最終形に近い形でたねまきするのが安全（植え替えを少なく）
- 暑い時期は土の乾きが早いので，多めの土で水切れを防止するのも有効

8

たねまき容器

- 深さ2~8センチ程度の小さめ容器
- 豆腐パック，卵パック，新聞紙などの廃材も活躍！（**水が抜けるように加工**してください）
- 仕切りの有無は好みで



たねまき容器を使わない派：

育ててほしい（咲かせたい）場所（庭や植木鉢）に直接まく
あるいは育苗ポットにまく ←たねまき容器と直まきの中間

9

土の再生

- 土は自然の複雑な営みでできる貴重な天然物！
- 土の再生 = 土を捨てない
- 再生が必要なのは、プランター等で使った土
 - **自然の再生システムがきかない**
 - 庭の土は，再生というより，「土づくり」「土育て」

プランターの古土の再生

- 栄養分を補充
 - 肥料，栄養豊富な堆肥
- pHの偏り（酸性）を戻す
 - 石灰資材，アルカリ寄りの堆肥
- 生物性を高める
 - 微生物資材，微生物豊富な堆肥，微生物が住みやすい多孔質な資材
- 形状（水はけ・水もちに影響）の調整
 - 粒がつぶれたものを取り除いたり，粒状の土やふわふわの土を補う
- タネや根の除去はお好みで

市販の再生材

10

5月は肥料や殺虫剤について

- 今からたねまきをして、来月、ちょうど虫対策や肥料について考える頃
- ぜひ実践してみてください♪

11



いきちかクラブは公園2箇所で 花壇運営中（ふれあいパーク活動）

- 新蒲田二丁目児童公園
 - #新蒲二_大花壇
 - #新蒲二_ミニ花壇
- 東矢口三丁目公園
 - #東矢口三_正面花壇
 - #東矢口三_西花壇
 - #東矢口三_みち花壇
 - #東矢口三_せんろ花壇

LINEオープンチャット
「いきちか花壇プロ
ジェクト」



12